

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第35期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	元気寿司株式会社
【英訳名】	GENKI SUSHI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長社長執行役員 法務人 尚史
【本店の所在の場所】	栃木県宇都宮市大通り二丁目1番5号
【電話番号】	028(632)5711
【事務連絡者氏名】	経理部長 齋藤 義範
【最寄りの連絡場所】	栃木県宇都宮市大通り二丁目1番5号
【電話番号】	028(632)5711
【事務連絡者氏名】	経理部長 齋藤 義範
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第2四半期 連結累計期間	第35期 第2四半期 連結累計期間	第34期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	12,370,012	13,367,699	24,598,893
経常利益(千円)	259,639	527,981	744,104
四半期(当期)純利益(千円)	197,551	450,412	426,127
四半期包括利益または包括利益 (千円)	182,532	461,515	461,508
純資産額(千円)	3,288,533	3,975,882	3,567,411
総資産額(千円)	11,654,338	12,912,380	12,148,656
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	22.37	51.01	48.26
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	28.2	30.8	29.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	444,411	399,273	1,515,975
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	333,069	515,093	472,511
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	78,793	43,165	500,763
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	3,231,190	3,555,301	3,619,024

回次	第34期 第2四半期 連結会計期間	第35期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	19.83	28.93

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況  
1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた経済対策や金融政策などが好感され、企業の業績が改善しており、景気回復への期待感が増しております。

外食産業におきましては、業界内の競争の激化や食材価格の高騰により厳しい経営環境が続いておりますが、個人消費の持ち直し傾向等もあり、明るい兆しが見えてまいりました。

このような状況の中で当社グループといたしましては、「鮮度とスピード」「笑顔と情熱」をキーワードに、他社との差別化を図り、より一層の接客サービスの向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高133億6千7百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益5億1千2百万円（前年同期比70.3%増）、経常利益5億2千7百万円（前年同期比103.4%増）、四半期純利益4億5千万円（前年同期比128.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### (国内事業)

国内事業におきましては、既存店の来店客数増加を維持し、客単価アップを図るとともに、店舗収益力を強化するため、各種営業政策を実施してまいりました。

店舗展開につきましては、前連結会計年度と同様に「魚べい」に経営資源を集中いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新設店5店舗を出店し、不採算店等9店舗を退店したことにより、総店舗数は138店舗となりました。また、改装等につきましては業態転換を含め3店舗を実施いたしました。

この結果、国内事業の業績は、売上高111億2千4百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益1億9千9百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

#### (海外事業)

海外事業におきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持と新規出店の促進を図り、子会社の店舗収益力を強化するため、派遣指導等を充実するとともに季節メニューの紹介や食材の販売強化に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、香港に4店舗、中国に8店舗、タイに1店舗を出店し、香港で1店舗退店したことにより、総店舗数は100店舗となりました。また、改装につきましては子会社において1店舗を実施いたしました。

この結果、海外事業の業績は、売上高22億4千2百万円（前年同期比30.2%増）、セグメント利益3億3千2百万円（前年同期比90.2%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6千3百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には35億5千5百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3億9千9百万円（前年同四半期は4億4千4百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億8百万円、減価償却費4億9百万円による増加があった一方で、仕入債務の増減額1億8千1百万円、法人税等の支払額1億4千3百万円による減少があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、5億1千5百万円（前年同四半期は3億3千3百万円）となりました。これは主に、店舗の新設等による支出6億4千5百万円があった一方で、差入保証金等の回収1億5千万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、4千3百万円（前年同四半期は7千8百万円）となりました。これは主に、長期借入10億円を行った一方で、長期借入金の約定返済6億8千9百万円、リース債務の支払2億1千3百万円を行ったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商 品取引業協会名	内容
普通株式	8,882,908	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	8,882,908	同左	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	8,882	-	1,151,528	-	1,344,671

( 6 ) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名または名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)神明	兵庫県神戸市中央区栄町通 6 - 1 - 21	2,500	28.14
(株)グルメ杵屋	大阪府大阪市住之江区北加賀屋 3 - 4 - 7	500	5.62
(株)足利銀行	栃木県宇都宮市桜 4 - 1 - 25	402	4.52
元気寿司取引先持株会	栃木県宇都宮市大通り 2 - 1 - 5	332	3.74
東京海上日動火災保険(株)	東京都千代田区丸の内 1 - 2 - 1	88	0.99
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	東京都中央区晴海 1 - 8 - 11	76	0.86
遠藤食品(株)	栃木県佐野市下彦間町697	68	0.77
元気寿司従業員持株会	栃木県宇都宮市大通り 2 - 1 - 5	61	0.68
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	東京都港区浜松町 2 - 11 - 3	60	0.67
三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区丸の内 1 - 4 - 5	54	0.61
計	-	4,144	46.65

(注) 1 . 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、以下のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	75千株
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	59千株

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 52,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,812,700	88,127	-
単元未満株式	普通株式 17,608	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,882,908	-	-
総株主の議決権	-	88,127	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
元気寿司株式会社	栃木県宇都宮市大通り2-1-5	52,600	-	52,600	0.59
計	-	52,600	-	52,600	0.59

2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、桜橋監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,619,024	3,555,301
売掛金	199,957	220,855
商品及び製品	233,618	225,561
原材料及び貯蔵品	43,803	48,497
その他	591,829	616,704
貸倒引当金	2,743	2,601
流動資産合計	4,685,489	4,664,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,510,505	5,666,368
土地	728,824	728,824
リース資産	2,213,948	2,816,687
その他	1,037,139	1,073,120
減価償却累計額	5,302,673	5,538,135
有形固定資産合計	4,187,744	4,746,865
無形固定資産	165,351	246,193
投資その他の資産		
差入保証金	2,157,896	2,306,961
その他	960,417	955,154
貸倒引当金	8,243	7,113
投資その他の資産合計	3,110,070	3,255,002
固定資産合計	7,463,166	8,248,060
資産合計	12,148,656	12,912,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,015,706	836,965
短期借入金	1,192,687	1,241,375
未払法人税等	138,381	80,500
賞与引当金	225,000	175,000
資産除去債務	23,230	6,500
その他	1,666,500	1,681,006
流動負債合計	4,261,504	4,021,346
固定負債		
長期借入金	2,018,858	2,280,270
リース債務	1,443,113	1,812,791
資産除去債務	335,614	334,596
その他	522,153	487,493
固定負債合計	4,319,740	4,915,152
負債合計	8,581,244	8,936,498
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	1,270,438	1,667,869
自己株式	70,608	70,671
株主資本合計	3,696,029	4,093,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,910	3,714
為替換算調整勘定	131,529	121,230
その他の包括利益累計額合計	128,618	117,515
純資産合計	3,567,411	3,975,882
負債純資産合計	12,148,656	12,912,380

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	12,370,012	13,367,699
売上原価	5,157,165	5,541,468
売上総利益	7,212,847	7,826,230
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,401,073	3,568,581
賞与引当金繰入額	154,859	168,863
その他	3,356,069	3,576,528
販売費及び一般管理費合計	6,912,002	7,313,973
営業利益	300,844	512,257
営業外収益		
受取利息及び配当金	451	549
為替差益	-	26,890
受取賃貸料	29,839	30,715
その他	21,541	31,167
営業外収益合計	51,831	89,322
営業外費用		
支払利息	48,519	55,909
為替差損	28,376	-
賃貸費用	15,856	15,143
その他	284	2,545
営業外費用合計	93,036	73,598
経常利益	259,639	527,981
特別利益		
特別利益合計	-	-
特別損失		
固定資産除却損	1,859	2,636
減損損失	-	12,181
賃貸借契約解約損	20,912	4,967
特別損失合計	22,772	19,785
税金等調整前四半期純利益	236,867	508,196
法人税、住民税及び事業税	51,801	74,662
法人税等調整額	12,485	16,879
法人税等合計	39,316	57,783
少数株主損益調整前四半期純利益	197,551	450,412
四半期純利益	197,551	450,412

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	197,551	450,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	294	803
為替換算調整勘定	14,723	10,299
その他の包括利益合計	15,018	11,102
四半期包括利益	182,532	461,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,532	461,515
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	236,867	508,196
減価償却費	349,613	409,267
減損損失	-	12,181
貸倒引当金の増減額(は減少)	448	1,272
賞与引当金の増減額(は減少)	12,000	50,000
受取利息及び受取配当金	451	549
支払利息	48,519	55,909
固定資産除売却損益(は益)	1,859	2,636
賃貸借契約解約損	20,912	4,967
売上債権の増減額(は増加)	13,312	20,581
たな卸資産の増減額(は増加)	10,247	3,981
仕入債務の増減額(は減少)	110,640	181,628
その他	42,188	144,294
小計	574,253	598,813
利息及び配当金の受取額	447	532
利息の支払額	49,215	56,205
法人税等の支払額	81,074	143,867
営業活動によるキャッシュ・フロー	444,411	399,273
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	247,173	333,421
無形固定資産の取得による支出	1,428	29,901
差入保証金の差入による支出	148,488	281,998
差入保証金の回収による収入	91,188	150,351
その他	27,167	20,124
投資活動によるキャッシュ・フロー	333,069	515,093
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	758,652	689,900
リース債務の返済による支出	149,131	213,889
配当金の支払額	13,245	52,981
その他	177	63
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,793	43,165
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,007	8,932
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	181,127	63,722
現金及び現金同等物の期首残高	3,050,063	3,619,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,231,190	3,555,301

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	3,231,190千円	3,555,301千円
現金及び現金同等物	3,231,190	3,555,301

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	13,245	1.5	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	52,981	6.0	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,647,375	1,722,636	12,370,012	-	12,370,012
セグメント間の内部売上 高または振替高	-	-	-	-	-
計	10,647,375	1,722,636	12,370,012	-	12,370,012
セグメント利益	217,502	175,012	392,515	91,670	300,844

(注)1.セグメント利益の調整額 91,670千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,124,973	2,242,725	13,367,699	-	13,367,699
セグメント間の内部売上 高または振替高	-	-	-	-	-
計	11,124,973	2,242,725	13,367,699	-	13,367,699
セグメント利益	199,590	332,822	532,413	20,156	512,257

(注)1.セグメント利益の調整額 20,156千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2.報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、営業力の強化と管理体制の明確化を図るため会社組織を変更しております。それに伴い、報告セグメントを従来の「レストラン事業」のうち、国内レストラン事業を「国内事業」、海外レストラン事業及び「フランチャイズ事業」を「海外事業」に区分しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。



( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日 )
1 株当たり四半期純利益金額	22円37銭	51円01銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	197,551	450,412
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	197,551	450,412
普通株式の期中平均株式数 ( 千株 )	8,830	8,830

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

元気寿司株式会社

取締役会 御中

桜橋監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 川崎 健一 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 富田 鉄平 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている元気寿司株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、元気寿司株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。